

思いとこだわりをのせた

「特産品」



上之保地域

津保川の最上流部にある上之保地域。手間暇かけて、一つひとつ丁寧に育てられた特産品には、熱い思いがたくさん詰まっています。



西国三十三観音塔

一石に三十三観音を浮き彫りにしている西国三十三観音塔は全国的にも少なく、中部地方には38基のみ存在します。上之保地域にはそのうち9基もあり、これほど集中して造立されている地域は全国的にもありません。



日龍峯寺（高澤観音）

本堂の舞台造りが京都の清水寺に似ていることから「美濃清水」の異名でも知られる日龍峯寺。岐阜県下最古の寺と言われており、鎌倉時代に時の尼将軍・北条政子によって建立された多宝塔は国の重要文化財に指定されています。

豊かさと恵みを与えてくれる

「自然」



武儀地域

「平成」への改元によって、全国から注目を集めた武儀地域。人びとに恵みをもたらしてくれる自然が広がり、数々の歴史や伝説に彩られています。



ゆず

古くから農家の庭先で栽培されてきたゆず。無農薬栽培にこだわって育てた、昼夜の寒暖差が大きい上之保ならではの糖度の高いゆずが実ります。



ゆずまつり

特産品のゆずを広くPRしようと開催されています。ゆずや加工品の販売、ゆずの足湯などが楽しめるイベントで、毎年、市内外から多くの人々が訪れ賑わいます。



平 成

「平成」への改元で、全国で唯一同じ漢字の地名の武儀町「平成（へなり）」地区は一躍脚光を浴びました。令和に改元される前には、平成時代に感謝して武儀地域で様々なイベントが開催され、再び盛り上がりを見せました。



清兵衛測

その昔、測の一带を清兵衛さんが管理していたことから、その名が付けられたといわれています。深さ10メートルほどで、水底の大岩は岩窟となっており、川好きだった清兵衛さんがドチロンベという妖怪に引きずり込まれたという伝説が残っています。



しいたけ

全国のしいたけのほとんどが菌床栽培をしている中、豊かな山林を活かした原木栽培が行われています。その風味豊かなしいたけを使った特産品も作られています。